

科目名	近代現代文学B		科目 コード	J54035	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
						30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	顧 偉良				授業 形態	講義	単独
授業の 概要	夏目漱石の晩年作品『こころ』をとりあげ、アクティブ・ラーニングの形でディスカッションを通して、この作品の人物構成、問題点などを考える。グループに分け、自由な形式の討論を通して、様々な角度からの問題提起を期待する。									
到達 目標	『こころ』の読みを通して、人間のエゴイズムとは何かを考えること、また作品を理解することが目標である。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 (授 業 時 間 外 の 学 修 を 含 む)						備 考	
第1回	『こころ』のテーマについて考える。		『こころ』の人生観について、友情、恋愛、罪の意識など考える。							
第2回	『こころ』上・第1章～7章		登場人物「先生と私」の身分の違い、場面、会話を中心に考える。							
第3回	『こころ』上・第8章～14章		登場人物「先生と私」の身分の違い、場面、会話を中心に考える。							
第4回	『こころ』上・第15章～21章		登場人物「先生と私」の身分の違い、場面、会話を中心に考える。							
第5回	『こころ』上・第22章～28章		登場人物「先生と私」の身分の違い、場面、会話を中心に考える。							
第6回	『こころ』上・第29章～36章		登場人物「先生と私」の身分の違い、場面、会話を中心に考える。							
第7回	『こころ』中・第1章～9章		「両親と私」をめぐって、財産、信頼、裏切りについて考える。							
第8回	『こころ』中・第10章～18章		「両親と私」をめぐって、財産、信頼、裏切りについて考える。							
第9回	『こころ』下・第1章～8章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第10回	『こころ』下・第9章～16章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第11回	『こころ』下・第17章～24章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第12回	『こころ』下・第25章～32章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第13回	『こころ』下・第33章～40章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第14回	『こころ』下・第41章～48章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
第15回	『こころ』下・第49章～56章		「先生と遺書」をめぐって、人生への悔恨、人生の教訓を考える。							
評価 方法 及び 評価 基準	授業への取り組み30% レポート70% (『こころ』をめぐって人生のテーマから一つ、二つの問題を選んでレポートを書く)									
教材 教科書 参考書	『こころ』新潮文庫									
留意点	五回以上欠席の場合、単位取得不可。									